

(株)FCCテクノが提案する物流システム

現場運用に合わせたシステムを開発いたします



■ 特徴

現場運用に合わせたシステム構築

私共が提供するシステムはパッケージソフトではありません。

現場の運用に合わせたシステムに作り上げるため、導入した事例やノウハウをもとにお客様と打ち合わせを行いながらシステム設計・開発を進めていきます。

オープンな立場でシステムの提案が可能

様々なメーカーやソフト開発業者の協力を得てオープンな立場でシステムの提案が可能です。



■ 導入事例

日配品 入荷検品・デジタルアソートシステム



無線ハンディターミナルによる入荷検品を行うと、
入荷数量をもとに各店舗へ配分数を自動計算します。

入荷検品が終了した商品は、仕分けエリアへ搬入され仕分け作業を開始します。

1次仕分け: 各ブロックごとの合計数量で1次仕分けを行います。

2次仕分け: 各ブロックで店舗仕分けを行います。



衣料品 デジタルアソートシステム

パソコン上で商品のバーコードをスキャンすると、各店舗に設置された表示器が数量を表示し点滅を開始します。この表示をもとに仕分けを行います。

各店舗には満杯用表示器が設置されており、箱が満杯になったときに押しボタンより箱明細リストが印字されます。

仕分けエリアは4ブロック用意されており、2ブロックは固定式、残りの2ブロックは移動式とし、店舗数に応じて機器を増やしたり減らしたり出来ます。

靴卸 デジタルピッキングシステム

各商品棚に設置された表示器をもとに、摘み取り型ピッキングを行います。

PC側では出荷地区を選択することで、表示器には次々に各店舗の出荷数量が表示されます。

食料品 出荷検品システム

ケース出荷商品については、事前に出荷ラベルを印字しておき、このラベルよりピッキングを行います。

ピッキングした商品にはラベルを貼り付け無線ハンディターミナルで出荷検品を行います。

バラ商品については、ピッキングリストよりピッキングし、オリコンを検品エリアに集めます。

バラ検品用PCには、固定式スキャナ、ラベルプリンター、プリンターが接続されており、オリコンごとに出荷検品を行います。

まず、ピッキングリストに印字されているバーコードをスキャンするとPC画面にピッキングリストの内容が表示され、

あとは、順次商品をスキャンして行きます。各オリコンには、出荷ラベルを貼り付け、出荷明細リストを入れて出荷します。

その他

発注書自動FAXシステム ・ 各種ラベル発行システム ・ 各種ハンディターミナルシステム etc...